



大地申
第8号

2018年度「ライフサイクルの深度化」に基づく
異動及び、復帰に関する申し入れを提出する！

大地申第8号

2018年12月7日

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社

支社長 中村知久 殿

東日本旅客鉄道労働組合

大宮地方本部

執行委員長 森田勝美

2018年度「ライフサイクルの深度化」に基づく

異動及び、復帰に関する申し入れ

大宮地本は、「ライフサイクルの深度化」施策実施以降、発生している事象について労使議論を積み重ね、施策の目的実現と安全で働きがいのある制度の定着を目指して取り組んできました。

昨年の団体交渉で、今施策を知らない乗務員や説明できない管理者がいる実態から「施策の趣旨を改めて周知する」ことを労使で確認してきました。しかし、職場からは「説明がされていない」「ライフサイクルの深度化についての書面が渡されただけ」という声があげられており、十分な説明がおこなわれていないのが現実です。

また施策の目的には、駅に配置する「運輸のプロ」への期待と役割にある「知識と経験を活かし他の若手社員の人材育成について期待」と記されていますが、若手の輸送職が配置されず人材育成が出来ていないなど、施策の目的実現に向けて社員のモチベーションを向上させる職場実態とはかけ離れています。

従って、覚書・議事録の確認事項を遵守し、全ての関係職場において更なる制度の定着に向けた体制の構築を求め、下記の通り申し入れを行いますので誠意ある回答を要請します。

記

1. ライフサイクルの深度化に関する覚書（2008年3月締結）を遵守し、この間の議論経過を踏まえた運用をおこなうこと。また、平成30年2月10日締結の地本一支社間での議事録確認を踏まえ、対象者に対し施策の目的・内容等を周知すること。
2. 各駅・運転区所の今後のライフサイクル深度化制度を運用する上での課題について明らかにすること。また、施策の趣旨に踏まえ「運輸のプロ」「輸送のプロ」の育成を実現すること。
3. ライフサイクル第12陣の異動規模・異動箇所及び異動時期を明らかにすること。
4. ライフサイクル第12陣の対象者の異動及び、第9陣の復帰は、この間の議論経過を踏まえ、本人希望を尊重し、本部一本社間の「労使メモ」に則り取り扱うこと。

以上

本人希望を尊重し、
職場組合員と共に交渉を創り出そう！
施策の目的の実現に向けて、